

富山県射水市に本社を置き、アルミ建材を中心に輸送する明穂輸送株式会社。2016年1月「DTG1」から「DTG7」へのリプレイスを実施した。新しくドラレコ機能が加わったことにより、ドライバーの安全・安心への意識が向上した企業である。

# 安全・安心は、DTG7と共に。

明穂輸送株式会社 様(富山県射水市)

「ドライバーが自発的に安全運転を競っている企業がある」と耳にした。地場配送から関東や九州への長距離輸送まで、アルミ建材を中心とした物流を担う明穂輸送株式会社である。積荷の形状は不規則で、荷崩れを起こさないよう、荷積み段階から非常に気を遣う。それを任されたベテランドライバー達自らが安全運転を競い合う背景とは何か、DTG7をどのように使っているのだろうか、その企業体質や安全教育とは特別なものなのだろうか。非常に興味を覚え、今回の訪問に至った。



▲ ブルーに白いライン、さわやかなデザインのトラックが並ぶ

## Report 1

### 「何よりもドライバーの安全への意識が変わった。それが一番の導入効果ですね」

同社の車両保有台数は約110台。約10年前から矢崎製のデジタル「DTG1」を導入していたが、全国で大きな事故が発生しているニュースをきっかけに、ドラレコ一体型に入れ替えることを決断した。まずは長距離用の大型車に導入、他の車輛も順次「DTG7」にリプレイスを行っている。

「導入後は非常に事故が減った。デジタルにドライブレコーダーがついたことによってドライバーの安全への意識が変わったことが何よりも一番の導入効果と考えています。」と同社の窪田常務取締役は語る。また営業事業統括部の橋本次長は「ヒヤリハットの動画を利用して、具体的な教育を行うことが可能になりました。」映像を活用することで安全教育の幅が広がったという。



明穂輸送株式会社  
常務取締役  
窪田氏



同  
営業事業統括部  
統括次長  
橋本氏